

新人議員あいさつ

高橋 五輪夫



お祭やイベント、そして県内外の同業者との親交で業界の悩みや問題などを学び、地方温泉観光地の問題や課題を通じて、多くの仲間が全国にできました。

この度の補欠選挙で議員になりました高橋五輪夫です。私は昭和47年2月4日に生まれ、41才になります。当時札幌五輪の開会式翌日

だった事から祖父が五輪夫と名付けました。家族は東京から来た妻と中学生の息子、娘、小学生の娘の5人、そしてビーグル犬と生活しています。

私は高校在学中に当時の英語教師の勧めでアメリカに夏季短期留学をさせて頂いた経験で、高校卒業後カナダオンタリオ州で4年弱海外に行かせて頂きましたが祖父の他界などの事情もあり両親の勧めで代々営んできた旅館に入社いたしました。

その時、地元先輩の勧めで消防団に入団したり、地元の旅館組合青年部を通じ

海外では北米、欧州の先進山岳リゾートでも勉強させて頂きましたが、この経験で外から見ることで湯沢の本当の素晴らしさに気づきました。

この経験を活かし自分を育てて頂き、先祖代々生活をさせて頂いた湯沢にいかはご恩返しをしたいと思っていました。議会に行かせて頂くとは夢にも思っておりませんでした。しかし、議会の先輩、同級生、観光業界の同志からの強い勧めと依頼があったので、妻に相談した時は「議員になりたいと言うなら大反対をするが先輩、友人や仲間からお願ひされているならやればよい」と言われたのが決意の後押しでした。

私は過去、新潟県旅館ホテル組合青年部長、湯沢温泉旅館組合長という私には

到底重過ぎる職を受けさせて頂きましたが、「頼まれ事は試されごと」として受けました。

今回は、選挙を通じて議会に送り出されたのですから経験を生かし、まだ知らない湯沢の事を学び、「知行合一」の精神で、二元代表制の行政の執行に対する監査としての議会の役割で精一杯、湯沢に為になる議員として任期を務めて行く決意をさせて頂きます。また町を変える力には「若者、ばか者、よそ者」の力が必要だと言われています。私は若者とはか者の力を発揮しながら、明るく朗らかに元氣良くとモットーに議会に新風を送る気概でいます。ぜひ多くのみなさまには私達住民の町、私達住民の議会に對してもっと関心を持ってもらえるよう指導のほどよろしくお願い申し上げます。

広報委員会研修報告
〔山形県庄内町議会〕

広報委員長 角谷 勉

平成25年11月20日・21日

議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した山形県庄内町の議会を訪れ、議会広報への取り組みを研修してまいりました。

庄内町議会は「全国自治体議会改革フォーラム」による、議会の自由な討論度、市民参加度、透明度調査で全国3位、町村議会では2位に表彰された議会でもあります。

レクチャーを受け、当町と比較すると「開かれた議会」「議会の情報公開」という点ではるかに進んでいることに驚きました。

当議会も「FM雪国」での放送や議場にカメラをいれてインターネットでの音声及び映像配信等に取り組んでまいりましたが、庄内町議会では7年前に議会映像情報を町内各施設のモニターテレビで

配信し、現在当議会でも取り組んでいる「議会基本条例」も5年前に制定。

議会議員政治倫理条例の制定、総合基本計画を議決事件に追加、公民館等での会議録の閲覧、議員同士の自由討論、常任委員会からの執行部への提案、定例会の検証、教育委員長の本会議出席等、当町でも今後取り組んでいかなければならないことをすでに行っております。

「議会だより」の役割は議会の内容をわかりやすく、町民の皆さんにお知らせすることだと思います。「議会の情報公開」が進み、議会の内容が手軽に収集できる状況になれば、おのずと「議会だより」の役割が変わり、編集内容も変化すると思います。

研修を終え、「議会改革・議会の情報公開」に対する重要性を再認識いたしました。

現在、議会の情報はパソコンを使われていない方や、FM雪国を聞く機会がない方には「議会だより」だけが情報源です。そのことを念頭に、「ありのままに」「わかりやすく」「町民目線」を編集方針として、当委員会の良い部分は残しながら、学んできたことができることから取り組んでいきたいと考えております。

